

第3章 将来値の基礎となる指標

本章では、将来値の基礎となる指標（以下、「基本フレーム」という。）を設定します。基本フレームは、過去の実績傾向に基づき時系列的な予測を行った結果得られる推計値のことで、将来新たに実施する施策による効果を見込んでいないものです。

基本フレームとして推計した値は、将来新たに実施する施策による効果を見込んだ将来値を想定するための基本となるものです。

上伊那広域連合の一般廃棄物処理基本計画（第6次改定版 令和6年度見直し）と整合性を図るため、実績の基準年度を2022（令和4）年度とします。

第1節 人口・世帯数

伊那市の将来人口については、過去10年間（2013（平成25）年度～2022（令和4）年度）の人口実績を踏まえ、国立社会保障・人口問題研究所の公表値に基づく推計値を基に、将来値を予測して推計値としました。

表3-1 人口・世帯数推計値（10月1日時点）【基本フレーム】

	実績	推計値		採用した推計手法
	2022(R4)	2029(R11)	2034(R16)	
人口	66,214	65,059	61,709	国立社会保障・人口問題研究所の公表値に基づく推計値を基に、予測した推計値
世帯	28,285	29,230	29,619	

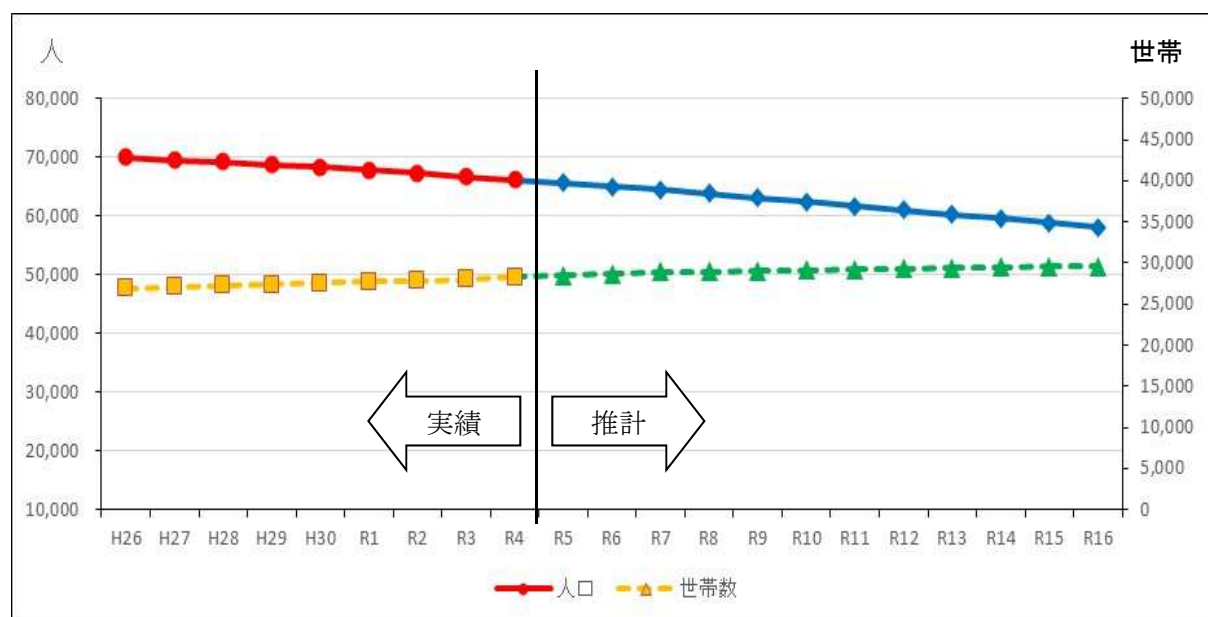


図3-1 人口の基本フレームのグラフ

第2節 ごみ量

1 家庭から排出されるごみの表し方

前期の計画では、家庭から排出された資源物や資源化されるごみも含めたごみを家庭系ごみとして表していましたが、家庭から排出される全てのごみと、資源物や集団回収（学校で行う廃品回収）を除いた最終処分されるごみとを区別するため、家庭から排出される全てのごみを「生活系ごみ」とし、資源物などを除き最終処分されるごみを「家庭系ごみ」として表していきます。

2 生活ごみの1人1日平均排出量の推計

(1) 生活系ごみの1人1日平均排出量の推計方法

2013（平成25）年度から2022（令和4）年度までの期間の生活系ごみの1人1日平均排出量の実績を基に排出区分別（燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源物及び粗大ごみの4区分）に推計を行いました。

ごみ処理基本計画策定指針（平成28年9月 環境省）では、過去5年間以上の実績を把握・整理することが適当であるとされています。

(2) 生活系ごみの排出区分別1人1日平均排出量の基本フレーム

生活系ごみの排出区分別の1人1日平均排出量の基本フレームは次のとおりです。

表3-2 生活系ごみ排出区分別1人1日平均排出量の基本フレーム

	項 目	実 績	推 計 値	
		2022(R4)	2029(R11)	2034(R16)
1人1日平均 排出量 (g/人・日)	燃やせるごみ	370	361	357
	燃やせないごみ	18	16	15
	粗大ごみ	14	15	15
	家庭系計	402	392	387
	資源物	84	89	89
	集団回収	0	16	16
	生活系合計	486	497	492

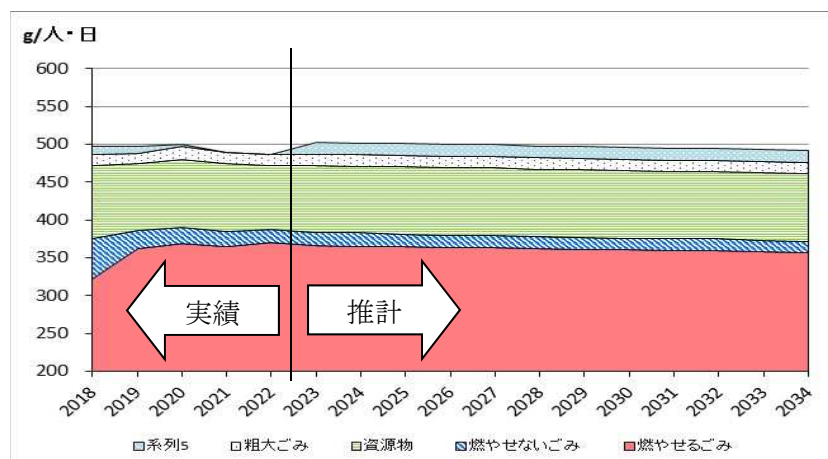


図 3-2 生活系ごみ排出区分別 1 人 1 日平均排出量推計のグラフ

(3) 生活系ごみの 1 人 1 日平均排出量の基本フレームに基づく年間総排出量の推計

生活系ごみの 1 人 1 日平均排出量の基本フレームに基づき年間総排出量の推計値は次のとおりです。

※算出方法 年間排出量＝1 人 1 日平均排出量×人口×365 日

表 3-3 生活系ごみ年間排出量の推計

	項目	実績	推計値	
		2022 (R4)	2029 (R11)	2034 (R16)
年間排出量 (t/年)	燃やせるごみ	8,945	8,153	7,593
	燃やせないごみ	437	360	318
	粗大ごみ	338	339	319
	家庭系計	9,720	8,852	8,230
	資源物	2,028	2,010	1,893
	集団回収	0	360	339
	生活系合計	11,748	11,222	10,462

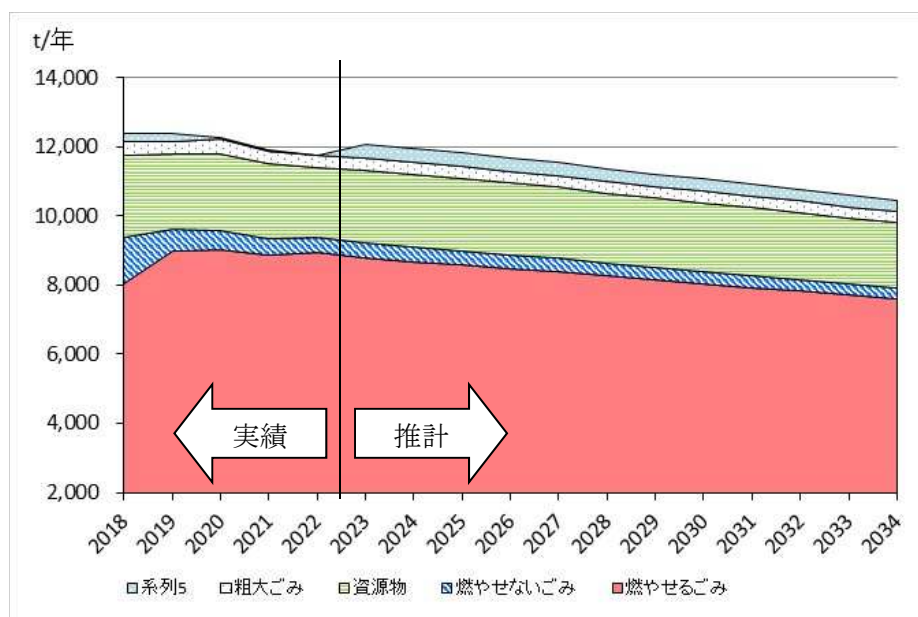


図 3-3 生活系ごみ年間排出量推計のグラフ

3 事業系ごみの年間排出量の推計

(1) 事業系ごみの年間排出量の推計方法

事業系ごみの年間排出量実績は、2013（平成 25）年度以降、景気の低迷から復調し、2017（平成 29）年度まで増加していましたが、同年にごみ処理手数料の改定を行ったこと、2019（令和元）年度から発生した新型コロナウイルス感染症拡大により、事業活動が低迷したことに伴い減少したものと捉えることができます。

2023（令和 5）年度以降は、新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行されたことを受け、徐々に事業活動が回復していくものと推察し、事業系ごみの量は 2015（平成 27）から 2019（令和元）程度まで増加していくものと推計しました。

(2) 事業系ごみの年間排出量の推計値

事業系ごみの年間排出量の推計結果は次のとおりです。

表 3-4 事業系ごみ年間排出量の推計

	項目	実績	推計値	
		2022 (R4)	2029 (R11)	2034 (R16)
年間排出量 (t/年)	燃やせるごみ	3,319	4,263	4,263
	燃やせないごみ	4	4	4
	粗大ごみ	—	—	—
	資源物	—	—	—
	合 計	3,323	4,267	4,267

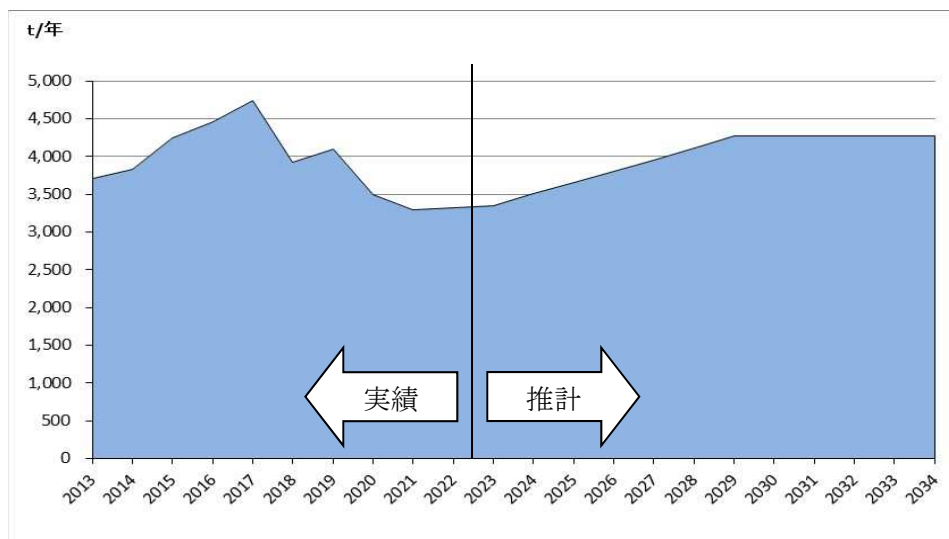


図 3-4 事業系ごみ年間排出量推計のグラフ

4 伊那市から出るごみの年間排出量の推計

伊那市から出るごみの年間排出量の推計結果は次のとおりです。

表 3-5 伊那市から出るごみの年間排出量の推計

	項目	実績	推計値	
		2022 (R4)	2029 (R11)	2034 (R16)
年間排出量 (t/年)	燃やせるごみ	12,264	12,416	11,856
	燃やせないごみ	441	364	322
	粗大ごみ	338	339	319
	資源物	2,028	2,010	1,893
	集団回収	0	360	339
	合 計	15,071	15,489	14,729

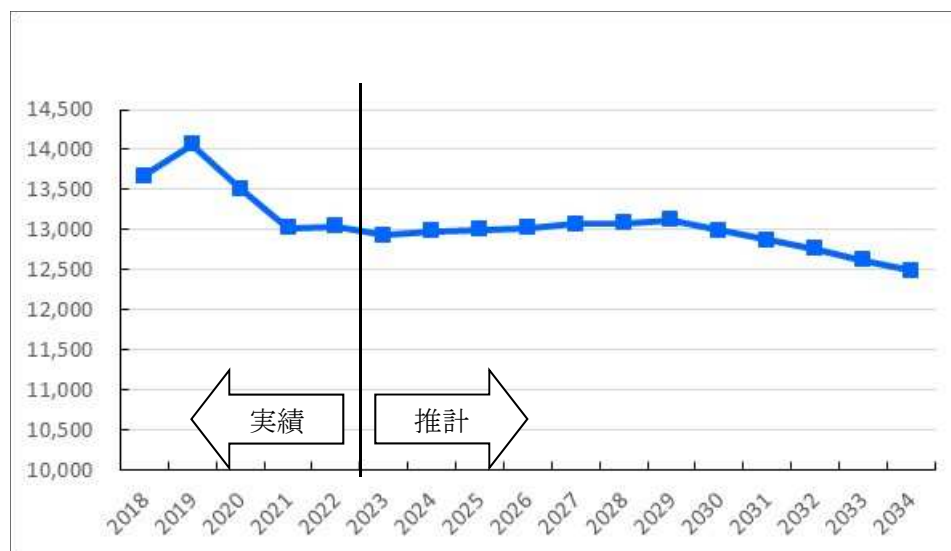


図 3-5 伊那市から出るごみの年間排出量の推計のグラフ